

Title	ビデオディスクのイノベータープロフィールに関する一考察
Sub Title	
Author	遠藤元宏(Endou, Motohiro) 片岡一郎
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1981
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001981-0126

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 遠藤元宏

主査 片岡一郎 教授

副査 滝沢 茂 助教授

所属ゼミナール 滝沢 茂 研

青井倫一 助教授

ビデオ・ディスクのイノベーター・プロフィールに関する一考察

今日の技術革新は、70年代の低迷期から抜け出し、目を見張るものがある。このような技術革新の波の中で、消費者は、益々、多様化の様相を呈し、ニーズの把握を困難にらしめている。そこで、各企業は適確かつ、迅速に、ニーズをつかみ、それに合致した製品開発と、そこから生み出された製品をいかにスムーズに普及させるかが基本命題の1つとして挙げられる。

本研究は、それらの基本命題に取り組むために、イノベーションの普及研究に基き消費者行動を想定し、より効率的な新製品導入のためマーケティング戦略の展開を試みたものである。そこで、今回は、イノベーションの対象として、ビデオディスクを選んだ。

その理由は、① ビデオディスク自体、非常に革新性の高い製品であり、今迄にはつきりとした消費者像が不明であること、② 特に電子機器業界において、ここ数年の間に、革新性の高い製品が続出することが予想され、それらの製品の市場導入時の戦略展開に一つのデータを提供したい、ということが主な理由である。

調査に先立ち、筆者は、次のような消費者像を予測した。(イ) 製品特性の検討結果から、製品特性の類似したVTRのヘビーユーザー or マニア、(ロ) 関心領域が広い広域志向性のある者、(ハ) イノベーションに対してのみ敏感な者(印刷媒体との接触度が高い人)これらは、11の仮説に分けられ、様々な観点から分析され、約2/3の仮説が有意差を持つに至った。そして、3つの具体的なビデオディスクのイノベーター像を描くことに成功した。

さらに、本研究では、製品普及に重要な影響を及ぼすオピニオンリーダーシップの測定も試みた。その結果、今迄、イノベーションの普及研究の問題点の1つであったイノベーションの採用を拒絶した者を、おぼろげながら、指摘できた。

これらのイノベーター・プロフィールは、新製品マーケティングにおける製品開発、プロモーション政策、流通政策に有効に活用できるといえよう。